



次の目標を決めること

部長 目崎 淳

早いもので今年も残すところあとひと月ほどとなりました。皆さんにとって今年はどうのようだったのでしょうか。「早いもので・・・」と言うことは多いと思いますが、この一年間に何があったのか、どのように過ごしたのかなどによって、その感じ方はそれぞれ異なると思います。

毎月、保健室から「保健室利用者統計」という表を受け取っています。いつ、何年生が、どのような理由（けがなのか、病気なのか）で保健室を利用しているのか、といったものが一覧になっているものです。学校で学習活動や休み時間の活動など、体を動かせばけがをすることもあろうかと思えます。また、季節の変わり目などは気温の寒暖差が大きくなることもあり、体調を崩してしまう人もいます。その中から、けがについて注目し、表をよく読み進めていくと、次のようなことが分かりました。

- ・10月のけがの保健室利用は今年度最高
- ・けがの種類の約半数は「打撲」
- ・けがが多い時間帯は「休み時間」と「体育」
- ・水曜日と木曜日にけがが多く発生している
- ・自分が気を付ければ防げたと感じているけがは約6割

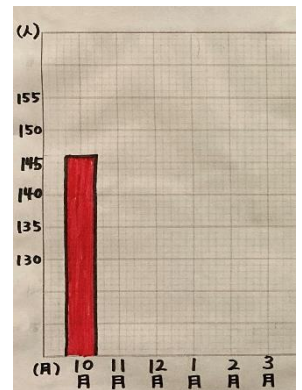
私は、やはりこの件数は多いと感じました。そこで、学級での指導や休み時間の声掛けを通して、少しでもけがを減らしたいと考えました。全職員が今まで以上に気にかけていくことが大切だと感じたからです。

さて、4年生以上の児童で組織する児童会活動の中に、委員会活動があります。初等部には10の委員会があり「思いやり 感謝 人を大切にする 初等部生」という目標のもとに、

活動を展開しています。その中の一つである保健委員会では、

- ① 初等部の保健室利用者が多いので、けがを減らせるような活動をしていきます。
- ② これから感染症がはやってくるので対策を考えます。

の2つを、後期の委員会活動として計画しています。早速、保健室前には、初等部生のけがの人数をグラフ化したものと、それに対する考察が書かれたものが掲示してあります。そして考察には次のように書かれています。



【保健室前の掲示板上より】

- ・10月のケガの人数は、過去1番の多さでした。
 - ・ろう下や教室、かいだんでのケガも多いです。
- 落ちついてすごせるよう 気をつけましょう。

これらの効果もあったのでしょうか。11月のけがの保健室利用は40件（28日現在）にまで減少しました。初等部生のけがに対する意識が高まったと思います。

では、この先はどうでしょうか。今回の結果を受けて振り返りを行うことで、一人ひとりがけがを減らせた（防げた）ことに気づき、より安全に過ごすための反省点が見いだされます。それが、次の目標となっていきます。自分をより高めていくための振り返りを繰り返すことで、結果として自己肯定感が高まっていくと同時に、けがの件数が減少し、安全な学校づくりにつながるのではないかと考えています。